

CASBEE 新築[簡易版]

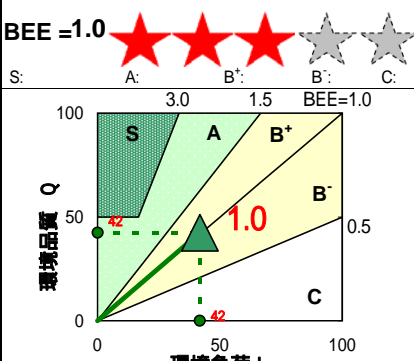
評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

| 1-1 建物概要 | | | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|---|--|
| 建物名称 | 新日鐵東田寮(期) | 階数 | 地上10F |  | |
| 建設地 | 北九州市八幡東区東田3丁目1番1 | 構造 | RC造 | | |
| 用途地域 | 第一種住居地域、法22条地域 | 平均居住人員 | 200人 | | |
| 気候区分 | 地域区分 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 | | |
| 建物用途 | ホテル | 評価の段階 | 実施設計段階評価 | | |
| 竣工年 | 2012年11月 予定 | 評価の実施日 | 2011年12月1日 | | |
| 敷地面積 | 26,221 m ² | 作成者 | 神戸 嘉也 | | |
| 建築面積 | 2,388 m ² | 確認日 | | | |
| 延床面積 | 7,351 m ² | 確認者 | | | |

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

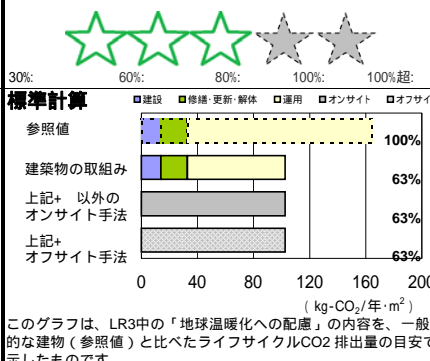
BEE = 1.0 ★★★★★



環境品質 Q vs 環境負荷 L

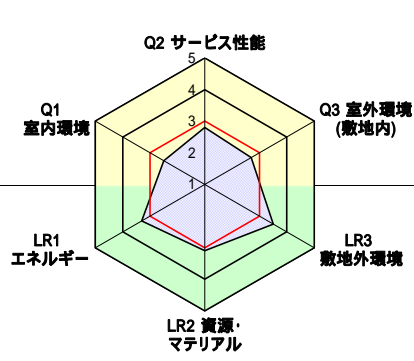
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



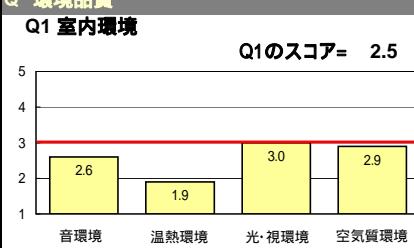
Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

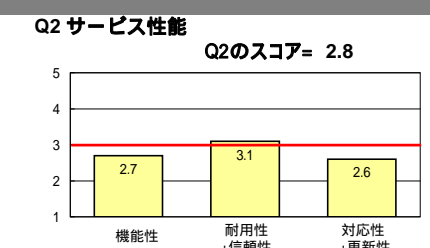
Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5



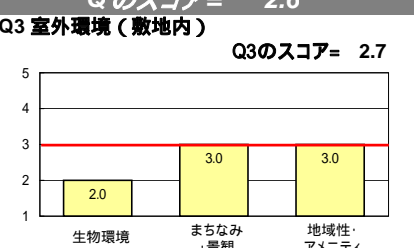
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8



Q3 室外環境(敷地内)

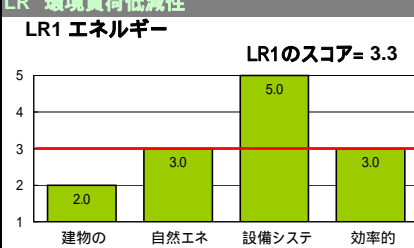
Q3のスコア = 2.7



LR のスコア = 3.3

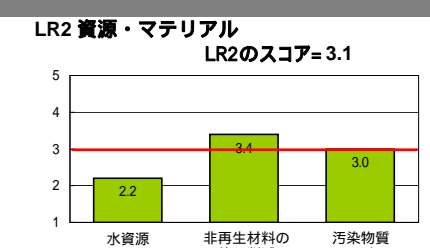
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3



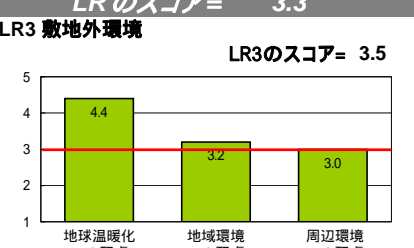
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|---|
| 総合 | 共用部と居住部(寮室)を分け、快適性に配慮した。あわせて寮室にユニットバス、ルームエアコン、個別給湯器を設け、プライバシーに配慮した。共用部の屋上は緑化とし、建物の熱負荷抑制に配慮し、給湯器は全て潜熱回収型給湯器とし、省エネルギーに配慮した。共用部に節水型衛生器具、リサイクル材を採用し、省資源に配慮した。 | その他 特になし |
| Q1 室内環境 | 【電気】共用部の4作業単位での点滅及び寮室の7部屋による2段階点滅 【内装材】ホルムアルデヒドに対してF級の建材の仕様 | Q3 室外環境(敷地内) 共用部に屋上緑化をし、ヒートアイランド対策を行った。 |
| LR1 エネルギー | 【空調】EHPの採用 【換気】共用部の居室に全熱交換器の採用 【給湯】潜熱回収型給湯器の全面採用 | LR3 敷地外環境 寮の入居者全員分の駐車場を確保した。また、分別ごみ収集場を設け、ゴミの処理負荷抑制を行っている。 |
| Q2 サービス性能 | 【通信】100Mbpsインターネット契約可能 | |
| LR2 資源・マテリアル | 【設備】共用部は節水型の衛生機器を採用、塩ビ配管等にリサイクル材を採用 | |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい